

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度第1回佐渡市公の施設指定管理者評価委員会
開催日時	令和5年7月13日(木) 13:15~16:00
場所	佐渡市役所 3階 大会議室
議題(会議内容)	<p>1 開会</p> <p>2 評価及び採点方式など全体説明</p> <p>3 議題(評価)</p> <p>(1) 真野第2保育園・西三川デイサービスセンター</p> <p>(2) 佐渡市総合体育館・佐和田テニスコート・佐和田野球場</p> <p>4 結果報告</p> <p>5 閉会</p>
会議の公開・非公開	公開
出席者	<p>《佐渡市公の施設指定管理者評価委員》(5名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長 小池雄一郎 ・副委員長 山口博司 ・委員 石川聡、山形ひろ子、堀ロー男 <p>《指定管理施設運営者》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真野第2保育園・西三川デイサービスセンター 社会福祉法人 ふれあい福祉会 常務理事 金子正人 西三川デイサービスセンター長 山口久夫 真野第2保育園 園長 吹屋佐和子 ・佐渡市総合体育館・佐和田テニスコート・佐和田野球場 一般財団法人 佐渡スポーツ協会 常務理事 本間豊 <p>《事務局》</p> <p>財産管理課 課長 斉藤昌彦 課長補佐 若林昭宏</p> <p>《施設所管課》</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども若者課 高齢福祉課 課長補佐 菊地則彦 調査員 渡邊恭一 社会教育課
傍聴人の数	0人

会議の概要（発言の要旨）

発言者	議題・発言・結果等
	<p>小池委員長に対して諮問書により諮問</p> <p>事務局から評価採点方法等の説明の後、真野第2保育園・西三川デイサービスセンターの説明、委員からの質疑、採点、集計、その後、佐渡市総合体育館・佐和田テニスコート・佐和田野球場の説明、委員からの質疑、採点、集計を行った。</p> <p>小池委員長進行</p> <p><真野第2保育園・西三川デイサービスセンター></p> <p>指定管理者の社会福祉法人ふれあい福祉会から、団体概要の説明、評価シート及び評価資料の説明を行い、その後に質疑に入った。</p>
山形委員	<p>コロナ禍ということでお年寄りとお子さんをお預かりして大変なご苦勞をされていると思います。</p> <p>コロナになる以前、デイサービスと保育園が併設ということで、両者のふれあいの取り組みなどされていたかと思いますが、一日のなかでどのようなふれあいがされていたのか、子供たちとお年寄りが過ごす行事などが催されていたのか教えていただきたい。</p>
ふれあい福祉会	<p>デイサービスご利用者様の時間帯をお聞きして、コロナ前は午前中の朝の時間にだいたい10時くらいから園児がデイサービスを訪問して握手をしたり、時々季節の歌を歌ったり手遊びをするなどのふれあいをしていました。</p> <p>そして、保育園の園児との交流ですが七夕会に保育園のほうに来ていただいて出し物を見ていただいたり、運動会に見学に来ていただいていました。</p>
小池委員長	<p>日本全体のことですが、お子さんの数、園児の数が減っていくということは予想されることだと思います。そんな中で利用料金収入を増加させる取り組みについての加算と記載がありますが、デイサービスセンターのことなのか分かりませんが具体的に教えていただきたいと思います。</p>
ふれあい福祉会	<p>主に加算という言葉を使わせていただきましたので、デイサービスセンターのほうでございませう。高齢者につきましては、在宅生活をしていくうえで自らの残存機能をどれだけ維持できるかということが大きな課題となりますので、デイサービスセンターでの通常のレクリエーションであったり、1名看護師を別に配置した中で機能訓練</p>

	<p>を実施しております。その機能訓練を実施することで通常の介護報酬にプラスアルファの訓練加算ということになります。</p> <p>また、職員への処遇改善加算ということで国の方針で一部ご利用者様の負担がございます。ご利用者様の負担が生じてしまう分をご利用者の皆様にその分還元できるようサービス提供のため様々な取り組みをさせていただいているところです。</p>
小池委員長	<p>園児の数が年々減っていますから収入という観点では対策が必要ですね。</p>
ふれあい福祉会	<p>西三川複合施設は、真野地区と羽茂地区のはざまにある施設でございます。どうしても真野地区の方は真野保育園に行かれますし、西三川地区中心の園児確保となりますとどうしても限界がある現状でございます。その中でも小規模で手厚い保育をしている施設を利用したいということで声掛けいただく方もいらっしゃいますが、小学校への入学に向けてはどうしても団体生活に慣れないといけないということで、大きな園を選ぶという現状であります。</p> <p>14名から8名に減って令和5年度は今は6名を受け入れています。園児のほうはなかなかお声掛けしても難しい状況です。運営にあたり一定の収入が必要となりますので、佐渡市のほうから指定管理料の固定化ということで園児数によらず指定管理業務の運営費をいただいている状況でございます。園児6名でも14名でも指定管理料は確保できているわけですが、西三川デイサービスセンターのほうはどうかといいますと、それは法人内の声掛けで羽茂地区や国仲からの利用者をどれだけ集めるかというところにかかってきます。令和3年度、令和4年度は大変厳しい状況でございますが、複合福祉施設全体として保育園、デイサービスセンター合わせた収支を見ますとなんとか運営ができています現状でございます。</p>
石川委員	<p>保育園の関係、そして高齢福祉の関係は非常に人手不足というか人材確保は非常に大変だと思いますが、採用と定着に関してなにか努力されていることはありますか。</p> <p>採用については、当法人では定年制度がありますが、職員がリタイヤするまで、特に法人内で一番高齢の方では80歳代で働いている方もいます。職員の定着という言葉が正しいのかわからないですが、働ける間は経験豊富な人材にできるだけ働いていただくということがまず一つであります。</p> <p>新規の採用となりますと求人が中心になりますが、求人だけではどうしても人が集まりませんので、職員を通じて紹介をしていただき、その職員に定着していただくとともに声をかけて人が人を連れてくるという状況があります。</p> <p>職員定着の一番重要なことは人間関係であったり、信頼関係であったり、法人の理念を職員に伝えるなかでいかに職員の満足度を上げられるかということが一番の定着に繋がりますので、一般職への指導というよりは、管理職、特に係長職に対して人</p>

	<p>材育成に関してどう取り組んでいけばよいかということを研修させていただいています。</p> <p>最終的には信頼関係、人間関係というのが一番大きくなりますので、そこで職員のモチベーションを上げましてサービスにつながり職員の定着率につながっていると考えています。確実にできてるかというとまだそこまででもないですがそのような考えで取り組んでいます。</p>
石川委員	<p>アルバイトの方がかなりいらっしゃると思いますが、正社員への登用制度のようなものはありますか。</p>
ふれあい福祉会	<p>年に1回の試験があり、令和4年度は4名を正職員登用しています。年齢に関係なく登用試験を受けられるようになっています。</p> <p>(質疑終了、審査表集計)</p> <p><審査集計結果 平均点 60 点 ランク B></p>
事務局	<p>評価表にあるコメントについては、今後精査させていただき答申に盛り込んでいきたいと思います。</p> <p><佐渡市総合体育館・佐和田テニスコート・佐和田野球場></p> <p>指定管理者の佐渡市スポーツ協会から、協会概要の説明、評価シート及び評価資料の説明を行い、その後に質疑に入った。</p>
石川委員	<p>夜間管理人の苦情というものがあったのですが、その内容をどのようなものでしょうか。</p>
スポーツ協会	<p>夜間管理人については、シルバー人材センターの2名と職員1名で夜8時まで3名で対応していますが、シルバー人材センターの方が窓口を対応してくれていますが、その窓口でのやり取りで利用者の方と言葉のやり取りでもめたということです。</p> <p>利用者の方も時間まであと10分やりたい。管理者としては10時に施錠したい。といった中でもめました。</p>
石川委員	<p>シルバー人材センターは業務委託ですか。それとも派遣ですか。</p>
スポーツ協会	<p>人材派遣になります。</p>

石川委員	人材派遣であれば、その人の対応が駄目であれば違う人に来てもらうことができると思うのですが、改善策というものはないか。
スポーツ協会	他の施設でも当初はスポーツ協会から個人に依頼して雇用していた時には対応も良かったのですが、一人の方の都合が悪くなると職員で全部対応する必要があり、うまく回せなかった部分がありますので、夜間の業務があまりない時間帯はシルバー人材センターにお願いしている状況です。
石川委員	シルバー人材センターで接遇研修を考えていただくなども必要ではないか。
スポーツ協会	個々にスポーツ協会から注意するということもできないので、そういった部分はシルバー人材センターの事務局を通じて伝えています。 シルバー人材センターも人を確保できない。交代できる状況ではないと言われているので、同じ人が継続して派遣されてくる状態にはなっています。
石川委員	結構パートの方もいらっしゃいますが、正職員4名に27名のパートアルバイトが全従業員となっています。就業規則は正規と別にパートアルバイト用の就業規則がありますか。
スポーツ協会	正社員は少なく、アルバイトが多いです。
石川委員	正社員就業規則が1冊あってそれと別にパート就業規則があるのか、一つの就業規則の中で待遇の違いを記述しているのか。 同一労働同一賃金というのが出てきている中でそのあたりがどうなっているのか。
スポーツ協会	正社員とは分けて作っています。 境界としては正社員を増やしていきたいのですが、なかなか安定した職場ではないのが実情で今のところこの正社員はスポーツイベントを実施している部署で2名と事務次長と指導にあたっている方の1名が正社員であとパートアルバイトとなっています。
石川委員	事業をいっぱいやられているのでこういう形態になっていまいかということですか。
スポーツ協会	徐々に正社員としていきたいのですが、経営を維持し続けられるのか。となると実際は難しいです。
山形委員	近年、障がい者スポーツが盛んになっていまして、体育館の方でもかなり取り組み

<p>スポーツ協会</p>	<p>されていることを佐渡テレビでもよく見えています。 そこで障がい者の雇用率について教えてください。</p> <p>障がい者の雇用については今はいません。 スポーツ協会自他の加盟団体に障がい者スポーツ協会という団体が加盟していただいています、職員として雇用するというのはまた別の話ですが、障がい者スポーツの大会運営などは今後増えていくかと思います。</p>
<p>小池委員長</p>	<p>電気料金の高騰があって協会本体から繰り入れていますが、今年も繰り入れが必要かと思いますが、総合体育館だけでなくほかの施設でも同じ状況があると思います。かなり厳しい状況なのでしょうか。</p>
<p>スポーツ協会</p>	<p>基金、運営資金は2000万といった資金は持っているんですが、今回は総合体育館だけで500万円ぐらい電気料金が昨年と比べて上がっていますので、それでいけば2000万円も4年分もない状況でありますので、佐渡市とも交渉をしまして、令和5年度についても補填するということで協議しています。 今までは、2割以上の高騰部分について補填ということでしたが、令和5年度については増加分を補填することで交渉しており、このままいくと指定管理を受託するものが居なくなるような状況です。</p>
<p>石川委員</p>	<p>研修で一つ聞きたいのですが、救急救命など、あと熱中症対策の研修はやられていますか。</p>
<p>スポーツ協会</p>	<p>施設としてはやっていないので消防署でやっている救急救命講習に職員に行ってもらう形で行っています。特にスポーツハウスのプールの管理もしているのでプール職員は毎年受講しています。</p>
<p>石川委員</p>	<p>今年は特に暑いので、室内で行うスポーツですと熱中症も出てくるかもしれませんのでしっかり対策してください。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>昨年スポーツハウスの際にお聞きしたのですが、自主事業を毎年やられているなかで、コロナの関係が昨年一昨年と緩和されている中で、自主事業も増えていますが、令和5年度もさらに増えていく状況でしょうか。</p>
<p>スポーツ協会</p>	<p>内容の見直しもしているのですが、お願いしている競技団体が対応できなくなっている部分がありまして、元に戻せるのかは難しいところで、野球でも硬式野球、軟式野球があり、子供の数が少なく、指導する側も指導者が足りなくて教室が成り立たな</p>

事務局	<p>くなっている。サッカーについても協会のほうの課題で教室をそのまま実施はできない状態です。競技団体と調整しながら進めていきたいと思っています。</p> <p>(質疑終了、審査表集計)</p> <p><審査集計結果 平均点 63 点 ランク B></p> <p>光熱水費の高騰について自助努力をお願いしたい。自主事業を増やすように。というコメントをいただいております。</p>
-----	--